

学校給食と学力の関連および食育における重要性について

高子 秀明



関係が見られ、朝食は学力により影響を与えていると推察される。

〔質問〕白石市食育推進プランの重要施策としての目標「朝食欠食者の減少を目指す」について、特に児童・生徒の朝食欠食は学力と密接な関係があることから、推進目標の進捗度を示した上で所見を伺う。

〔答弁〕「教育長」児童・生徒の朝食欠食については、教育委員会としても、生活習慣上大変重要な問題だと認識している。昨年度よりも朝食を全く食べない児童・生徒は、改善傾向にあることが今年度の調査で分かった。

朝食欠食と学力との関係については、小学校において学力との関係

指導で行なっている。

学校給食について、3食のうちの1食として適切な栄養摂取を図るとともに、食事についての正しい理解や健康な生活を送るため、望ましい食習慣を身につけること、加えて食生活には自然の恩恵や携わる方々の支え、伝統的な食文化があることを理解することを目的としていると認識している。

〔質問〕子育て世代の経済負担の支援策、少子化対策の一環として、今後、学校給食の無償化について検討を行う必要性があると感じるが、現時点での市長の所見を伺う。

〔答弁〕「市長」学校給食費無償化の検討は行なっているが、学校給食費の無償化は、学校給食法第11条の規定見直しとともに、国が行うべきであると考えている。

〔質問〕健康保険証への機能登録をされた方の数を伺う。

〔答弁〕「健康推進課長」

本市におけるマイナンバーカードの普及・利活用について

大森 貴之



11月末時点で、2千812件の登録である。

〔質問〕交付枚数と交付率を伺う。

〔答弁〕「市民生活課長」補佐「令和4年11月末現在、1万4千90枚、交付率は44%である。

〔質問〕普及促進のため、独自の事業計画が必要と考えるが、見解を伺う。

〔答弁〕「市民生活課長」補佐「郵送のほか、インターネット申請のサポート、月2回午後7時まで交付窓口を開設。月1回から2回程度、休日交付窓口を開設している。

〔質問〕健康保険証への機能登録をされた方の数を伺う。

〔答弁〕「健康推進課長」

課長「固定資産税の償却資産申告一つのみであ

るが、令和4年度中に合計29手続きでマイナンバーカードを活用した申請が可能となるよう進めている。

〔質問〕マイナンバーカードの健康保険証利用が可能な医療機関数と薬局数を伺う。

〔答弁〕「健康推進課長」市内では病院が1カ所、内科診療所が6カ所、歯科診療所が2カ所、薬局が18カ所である。

〔質問〕マイナンバーカードは全住民が所持し、多くの場面で利活用できることが望まれる。

先進都市になるべく、さらなるまちづくりに向け前進すべきと考えますが、見解を伺う。

〔答弁〕「市長」将来の費用負担を勘案しながら、行政や地域社会のデジタル化に向け、取り組んでいきたい。